

メディア表現演習 ~Hands-on ワークショップ~

(各クラス 定員12名まで)

担当講師：土屋 雄 (本学准教授)

今回は以下A、B 2つの体験型授業を用意しました。両授業とも初心者のための内容で、特に音楽能力やコンピュータの知識等は問いませんので、お気軽に受講してください。

A：音(楽)を目で視てみよう。(35分)

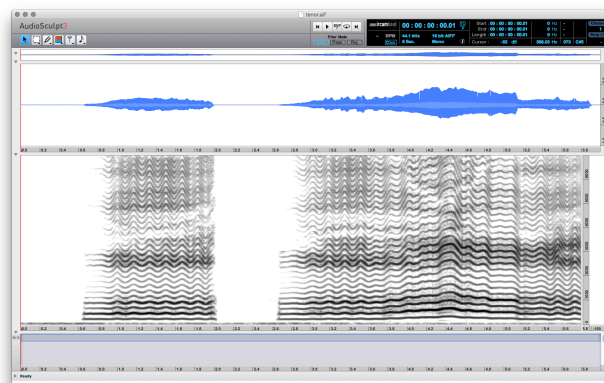
授業内容

音響分析ソフトの簡単な使い方を体験し、音や音楽の細部を目で視てみることから始まります。そしてその分析結果を用いて様々に加工したり、自由に編集して音(楽)をつくることを学びます。作成したデータはすべて持ち帰ることができます。

(大学・先端アート研究の授業風景)



(音響分析の一例)



B：音(楽)を描いてみよう。(45分)

授業内容

世界標準の楽譜作成ソフトウェアである「Finale」を使って、楽譜を作るテクニックを体験します。作成した楽譜をプリントアウトして持ち帰ることができます。

(大学・マルチメディア演習の授業風景)



(楽譜作成の演習の一例)

【A-05-01】 旗の分断及び接合、発想記号(テキスト)の作成、音符の非表示、繰り返し小節線

【A-05-02】 スタッカート、音符の移動、付点の移動、ダブルシャープ、バダル記号、アクセント、棒の

(R. Schumann / Kinderszenen 7) より有止音楽